



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.2

令和5年4月27日発行

自分で考えて自分で決めることの大切さを



私たちは今、時代が求めている大きな変化に向き合わなくてはなりません。デジタル化の遅れや、SDG's、ジェンダー問題、加速する少子化など、「答えが今までの経験からでは見つけられない著しく困難な課題」が次々に出てきているのが今という時代です。こうした困難な課題や新たな価値を創り出すという課題に時間をかけて向き合うことこそが、私たちに求められていることであり、日本が今の停滞から脱していくために避けて通れない道だとも言われています。そのような課題に向き合うためには

「考える力」と「時間」が必要になります。これまでの日本の教育はきちんと指示をこなせるような人間を育て、経済発展を支えてきましたが、これからは、ものごとの本質までさかのぼって、「なぜ、何のために、そもそもどういう意味があるのか。」と深く自分で考え、自分で判断できるような子供を育てなければなりません。そこで、裏面にも示してありますが、今年度の学校経営の重点キーワードは「自分で考えて自分で決める」ことができる子供を育てることに設定しました。授業はもちろん、教育活動全般を通してこの力を付けていきたいと考えています。「前例踏襲」の考えにこだわることなく、常にアップデートを図り、子供のよりよい成長を図っていくつもりです。

4月25日(火)の校長講話では、役割演技による具体的な場面を示しながら、「自分で考えて自分で決める」とはどんなことなのか、子供達の考えも引き出ししながら説明したところです。



ありがとうございました！

環境整備作業

4月15日(土)に雪囲い撤去作業やフェンス設置、側溝掃除、グラウンド整備等のPTA作業が行われました。小雨がぱらつく中での作業となりましたが、お



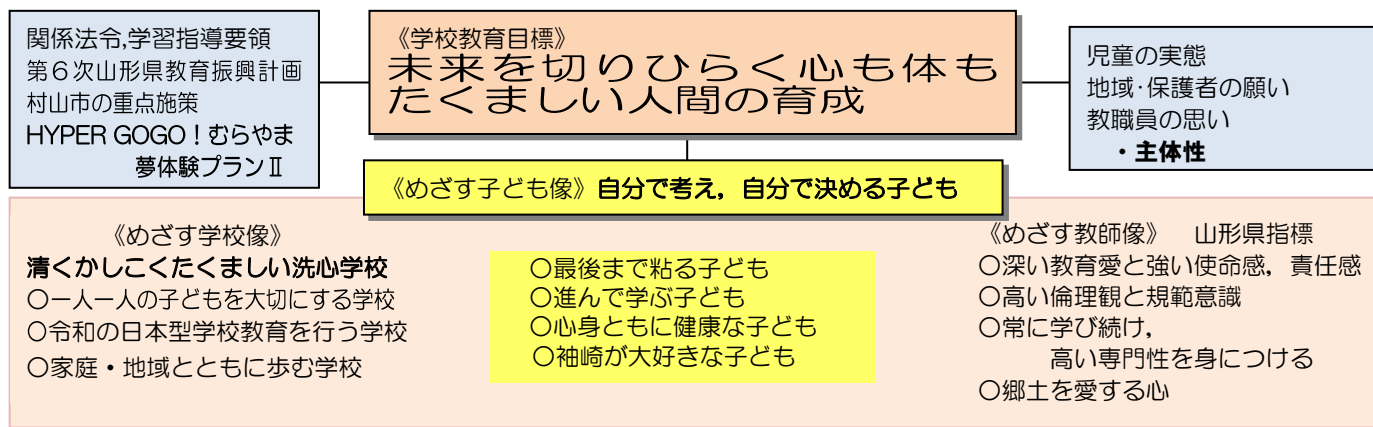
てもきれいに整備され、翌週から子ども達はグラウンドで元気に遊んだり、ラインが引かれたグラウンドで陸上練習に取り組んだりすることができました。朝早くからの作業に感謝いたします。

高額な寄付をいただきました

4月11日(火)に、本校を卒業され、現在「株式会社スズキ」の代表取締役会長の 鈴木富造 様から 50 万円の寄付をいただきました。子ども達の教育に大いに役立てたいと考え、とても有り難く頂戴いたしました。授業で使用する電子黒板等の購入を検討しております。



令和5年度 村山市立袖崎小学校経営方針



《経営方針》

- 1 子どもたちの主体性を育むとともに、これからの時代に必要な資質・能力を高める。
- 2 保護者や地域と積極的にかかわり、袖崎地区の教育資源を十分に生かした教育活動を実践する。

《経営の重点》

1 心の教育の充実（安心・安全）

- 「洗心の精神」を教育活動に生かす … 「洗心 あいうえお」を諸活動に
- あ 元気なあいさつ (心をつなごうとする態度)
- い 何事にもいっしょうけんめい (全力を尽くす態度)
- う うつくしい行い (清らかで素直な心)
- え えがおでチャレンジ (前向きな挑戦意欲)
- お あふれるおもいやり (相手のことを考えられる心)
- 袖崎スタンダードをもとに、自分達で生活ルールを考える
- いじめ・不登校の未然防止
- 早寝早起き朝ごはん活動の推進による基本的生活習慣づくり

2 令和の日本型学校教育の推進（子どもに裁量を与える授業）

- 授業の中での裁量を与える時間の確保 … 個別最適化と協働的な学びの推進
- ICTの文房具としての活用
- 特別支援教育の推進 … 細やかさと温かさ
- 英語・外国語活動の授業の充実
- 主体性を育むカリキュラムマネジメント
- 全校読書と読み聞かせによる読書活動の充実
- 家庭学習の質の充実

3 ふるさとを愛する子どもの育成（袖崎大好き）

- 袖崎の教育資源（自然環境や伝統文化）を生かした教育活動の充実
- ICTを活用した情報の発信と地域の教材と人材活用による開かれた学校づくり
- 子どもの成長を学校と互いにつなぐPTA, 地域諸団体との連携の強化

袖崎小学校令和5年学校経営のキーワード

「洗心 あいうえお」 「自分で考え, 自分で決める」